

一般社団法人北海道建築技術協会

令和2年度 事業実施報告書

令和3年5月20日

令和2年度事業実施報告

(自 令和2年4月1日～至 令和3年3月31日)

第1 建築に係る調査、研究、開発に関すること

1 特定専門研究委員会の設置等

令和2年度は、以下の研究委員会が活動した。

・平成30年度設置

- ① 「住宅換気スーパーバイザー育成プログラム検討委員会」(委員長 山本亜耕氏、設置期間：平成30年10月～令和4年3月)
令和元年度の(公財)建築技術教育普及センター普及事業助成の実施項目である「換気セミナー&シンポジウム」を令和2年8月26日に会場参加とウェブ参加で行った。セミナーの動画は協会ホームページに掲載し、一般公開している。

2 調査研究等の受託事業の実施(補助事業を含む)

令和2年度は、下記の6件の受託業務と2件の補助事業を実施した。

[受託事業]

- ① 「地域材を活用した木造公共建築物に係る企画・設計支援委託業務」(委託者：北海道)
北海道(水産林務部林業木材課)が実施する木造公共建築物等の整備に係る技術支援事業(相談窓口・体制整備)の一環として、市町村等が、道産木材を活用し、地域にふさわしい木造公共建築物を地域の力で作り上げることができるよう、企画・設計段階における相談対応や専門家の現地派遣等の技術支援を内容とする標記業務を受託し、木質構造研究会の平井副会長、植松幹事を中心に事業を実施した。
期間：令和2年6月9日～令和2年3月17日 受託金額：951,699円
- ② 「令和2年度事業者向け「住宅リフォームセミナー」実施・運営業務」(委託者：(一社)住宅リフォーム推進協議会)
期間：令和2年10月21日～令和3年1月31日 受託金額：88,000円
- ③ 「令和2年度消費者向け「住宅リフォームセミナー」実施・運営業務」(委託者：(一社)住宅リフォーム推進協議会)
期間：令和2年10月21日～令和3年1月31日 受託金額：122,780円
- ④ 「令和2年度住宅・ストック活用推進事業「住宅省エネルギー技術講習会設計施工資料作成WG」に係る住宅省エネルギー技術講習テキストの査読業務」
(委託者：(一社)木を活かす建築推進協議会)
令和元年度に作成協力した「住宅省エネルギー技術講習テキスト 設計・施工編 北海道(1～3地域)版」の令和3年度版テキストの査読業務を、当時の作成委員に依頼して行った。
期間：令和2年11月17日～令和3年3月31日 受託金額：51,480円
- ⑤ 「Sマンション省エネ計算に係る整合性確認業務」(委託者：民間企業)

委託者が、令和2年度長期優良住宅化リフォーム推進事業の補助申請にあたって提出する省エネルギー適合計算に関する資料の計算過程を確認するとともに、「リフォーム後の住宅性能に係る基準等の適合状況確認書」の「3. 省エネルギー対策」の評価基準への適合性を検証するため、検証委員会を設置し、業務を行い、検証報告書を作成して活動を終了した。

期間：令和2年12月3日～令和3年1月31日 受託金額：332,640円

⑥ 「Eマンション外壁材変形原因調査結果の妥当性評価業務」 (委託者：民間企業)

外断熱マンションの通気工法外壁ボードに生じた変形についての原因調査結果の妥当性について検証・評価するため、検証委員会を設置し、業務を行い、評価報告書を作成して活動を終了した。

期間：令和2年12月3日～令和3年2月1日 受託金額：121,660円

[補助事業]

① 住宅ストック維持・向上促進事業 (消費者の相談体制の整備事業) (国土交通省補助事業)

本事業は、住生活に関するニーズを一元的に受け、専門家が連携して多様な消費者のニーズに対して的確に助言・提案を行うサポート体制の整備を支援するもので、今年度は住宅リフォーム相談窓口の連携体制の維持、消費者向けリフォーム相談会、リフォーム事業者登録情報提供方法の拡充、推進協議会ホームページのリフォーム関連情報の充実、消費者への相談窓口の最新の情報提供などを実施した。この事業の一部を北海道住宅リフォーム推進協議会に「北海道住宅リフォーム消費者相談窓口対応・相談会等開催事業」として委託した。委託金額は340,000円。

期間：令和2年6月23日～令和3年2月1日 補助金額：963,650円

② 「住宅市場整備推進等事業 (住宅建築技術国際展開支援事業 (うち事業環境整備に関する事業))」 (国土交通省補助事業)

昨年度に引き続き国土交通省の補助事業である「住宅建築技術国際展開支援事業 (うち事業環境整備)」に採択され、今年度は、フィリピンに提案する工法の技術的検討、提案工法の活用促進に向けた検討、フィリピンにおける関係機関との意見交換、活動報告会などを実施した。これらの活動成果は、成果報告書に取り纏め、HPに掲載している。

期間：令和2年8月1日～令和3年3月16日 受託金額：9,840,900円

3 関係資料の収集・閲覧等

国交省補助事業で入手・活用した「「建築用コンクリートブロック」製造規格」((一社) 全国建築コンクリートブロック工業会技術委員会編 (平成29年5月31日))、「JIS A 5406:2017、JIS A 5406:2019 追補1」、「ASTM C426 - 16」、「ASTM C140/C140M - 20a」および「壁式構造配筋指針・同解説 (第5刷)」(日本建築学会, 2020.4) 保管している。

第2 建築技術の普及・啓発に関すること

1 H o B E A フォーラム 2 0 2 1 の開催

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会場+オンライン (Zoom) 方式で「住ま

い・コロナの今とこれから」をテーマに開催した。

(1) 開催日時：令和3年1月21日（木）午後13:30～16:35

(2) 会場：ホテル札幌ガーデンパレス 4階「平安」（札幌市北区北1条西6丁目）

(3) 一般参加者：102名（会場25名、オンライン77名）

関係者：9名（会場9名）

(4) 次第

13:30 主旨説明と講師紹介 北海道建築技術協会 副会長 福島 明

13:40 基調講演1：「コロナと換気、分かっていること、分からないこと」

北海道大学大学院工学研究院 教授 林 基哉氏

14:30 基調講演2：「換気設備、在っても換気無し？」

北海道立総合研究機構北方建築総合研究所 主査 村田さやか氏

15:00 休憩

15:10 パネラーとコーディネーター紹介 前出 福島 明

15:20 パネルディスカッション

コーディネーター：北海道大学大学院工学研究院 准教授 菊田 弘輝氏

パネラー： 株式会社キクザワ 代表取締役 菊澤 里志氏

株式会社山本亜耕建築設計事務所 代表 山本 亜耕氏

前出 林 基哉氏

前出 村田さやか氏

16:30 閉会挨拶 北海道建築技術協会 会長 石山 祐二

16:35 閉会

2 講演会、見学会の開催

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、講演会、見学会の開催を自粛した。

3 住宅リフォーム事業（再掲）

一般社団法人住宅リフォーム推進協議会の委託事業として、令和2年度事業者向け「住宅リフォームセミナー」及び令和2年度消費者向け「住宅リフォームセミナー」を実施した。これらのセミナーは、北海道住宅リフォーム推進協議会と（一社）住宅リフォーム推進協議会の主催で開催され、協議会事務局である当協会が企画・実施した。

(1) 事業者向けセミナー

・テーマ：「コロナ禍を乗り越える ～これからの顧客とのつながり方～」

・日時：令和2年12月15日13:30～15:05

・会場：ホテル札幌ガーデンパレス 4階「平安」

・講師：大石 佳知氏（(有)アーキ・キューブ）（Zoomによるオンライン講習）

・参加者：9名

(2) 消費者向けセミナー

・テーマ：家時間をもっと楽しく ～これからの住まいの“当たり前”～

・日時：令和2年12月4日13:30～15:30

・会場：ホテルウィングインターナショナル旭川駅前 「ラベンダー」

・講師：菅野 敏夫 氏（一財）北海道建築指導センター 住宅相談員

・参加者：18名

国土交通省の補助事業である「住宅ストック維持・向上促進事業（うち、消費者の相談体制の整備事業）」の実施項目のうち、住宅リフォーム相談会について次のように実施した。

(1) 住宅リフォーム相談会

- ・日時：令和2年11月13日10:00～16:00
- ・場所：札幌駅前通 地下歩行空間 北大通交差点広場（東）
- ・相談員：樋口健人氏（(有)樋口板金）「屋根改修、屋根のトラブルなど」
：東出憲明氏（INDI株）「住まいの現況調査など」
：東 道尾氏（一級建築士事務所 自然）「リフォーム計画など」
：川村 健氏ほか（(公社)北海道宅建協会）「不動産売買、賃貸借など」
- ・相談者：13組

4 相談事業の実施

- ① 札幌市所有の墓地の境界に設置された既存ブロック塀の耐震診断に関する相談があり、民間の調査診断会社があることを紹介した。
- ② 既存マンションの長期修繕計画における外断熱大規模修繕のコミッションング枠組み作成に向けての相談があり、枠組み作りに関する国交省補助金獲得に向けて協議を進めることとした。
- ③ 函館市にあるレンガ造建物の耐震診断に関する相談があり、相談者が診断業務を請けた場合に具体的な支援を相談することとした。

5 機関紙「会報No. 17」の発行

当協会の機関紙「会報 No. 17」を令和3年1月に発行した。内容としては、5つの研究会がそれぞれの分野を受け持って構成する形を踏襲した。巻頭に北海道大学名誉教授 城 攻氏が「耐震診断・耐震改修設計の審査委員として考えたこと」と題する寄稿を掲載した。

詳しい内容は「会報No. 17」をご覧ください。

6 普及・啓発資料の作成・頒布等

ア 普及図書等の頒布

既刊普及資料等の頒布状況は次のとおりである。

既刊普及資料の頒布（主なもの）

「RC造 外断熱改修工法ハンドブック」	3	冊
「RC造 外断熱の疑問に答える」	4	冊
「住まいの高性能リフォームの技術」	2	冊
「住まいの高性能リフォームの技術」事例編	3	冊
「既存木造戸建住宅・現況調査と評価（住宅検査人登録講習会テキスト第4版）」講習会以外	4	冊
「北の住まいの熱環境計画2015（第2版）」講習会以外	17	冊
「住宅の断熱・換気その最前線」講習会以外	5	冊
「丈夫で長持ち・快適住宅のすすめ」	4	冊

イ 各種研究委員会活動の成果等のフィードバック

例年開催されている特定専門研究委員会報告および会員交流忘年会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の点から今年度は中止とした。

7 ホームページの充実・運用

適宜情報の更新・追加を行ない、講習会、セミナーなどの行事について会員外への告知を積極的に行った。また、助成を受けて実施した「換気セミナー&シンポジウム」や「HoBEAフォーラム2021」を録画し、ホームページから一般公開した。

視聴回数は次のとおりである。

- ① 「換気セミナー&シンポジウム」 131回（令和2年9月4日～令和3年3月31日）
- ② 「HoBEAフォーラムフォーラム2021」 97回（令和3年1月24日～令和3年3月31日）

第3 建築技術者・技能者等の育成・認定・研修に関すること

1 B I S 認定事業の実施

B I S 認定事業について、今年度は下表のように認定制度運営委員会を1回、試験講習委員会を3回開催した。

委員会		開催日	場所
B I S 認定制度運営委員会	第1回	令和2年11月24日	札幌エルプラザ
B I S 試験講習委員会	第1回	令和2年6月25日	ZOOM会議
	第2回	令和2年9月29日	かでの2.7
	第3回	令和2年11月24日	札幌エルプラザ

B I S 資格者新規取得のための養成講習会・認定試験及びB I S 有資格者のための更新講習会は新型コロナウイルス感染症の影響で開催時期、開催場所、開催方法を例年から大きく変更して行った。

(1) 養成講習会・認定試験

養成講習会は札幌市でのみ2回実施し、道外では実施しなかった。

認定試験は札幌市のみで実施した。

(2) 更新講習会は実講習会を旭川市で1回、札幌市で2回開催し、全国に向けての動画講習会を3回行った。

また、平成16年度から始めたB I S-Eの試験(書類試験・面接試験)はいずれも札幌市において2回実施した。

B I S、B I S-E及びB I S-M資格者は、令和3年3月31日現在それぞれ1,118名、99名、448名で合計1,665名である。

令和2年度 B I S 認定 講習会・試験等の実施概要

行事名	B I S 更新講習会						B I S 養成講習会		B I S 認定試験	B I S - E 面接試験		
	旭川市	札幌市 第1回	札幌市 第2回	動画配信			その他	札幌市 第1回	札幌市 第2回	札幌市	第1回	第2回
開催 年月日	R2. 9.24	R2. 10.15	R2. 10.26	R2. 10.15	R3 1.26	R3 2.17		R2. 10.28	R2. 11.5	R2.11.18	R2. 8.28	R3. 2.25
時間	13:00～ 16:00	13:30～16:30				9:00～ 12:00		9:30～17:00		13:30～16:00	9:00～12:00	
場所	旭川市勤 労者福祉 総合セン ター	北海道 自治労 会館4階 ホール	北海道 自治労 会館5階 大ホー ル					北海道自治労会館 4階ホール	北海道自治労会 館4階ホール	大五ビル 2階会議室		
受講・受 験者数	51	66	45	183	58	58	14	26	31	59	11(内 3名面 接なし)	11(内 2名面 接なし)

2 住宅リフォーム事業者登録事業の実施

北海道内における住宅リフォーム事業者登録制度については、平成21年2月より登録申請受け付けを開始し、3年毎の登録更新を行っている。令和3年3月31日現在、登録されている事業者は92社である。

3 北海道住宅検査人認定・登録事業の実施

北海道検査人登録講習会を、令和2年8月27日に札幌市において実施し、受講者は1名であった。また、更新講習会を令和3年2月2日に札幌市の会場とオンラインにおいて実施し、更新受講者は7名であった。

令和3年3月31日現在の北海道住宅検査人登録者数は124名である。

4 研修会・セミナー等の開催

① HoBEAシンポジウム

当協会が2018年度より国土交通省の補助を得て、ブロックが広範囲に使われているフィリピンを対象にして、日本の補強CB造を紹介、安全なブロック造を普及するプロジェクトを進めており、その活動内容の紹介と意見交換を行った。

- ・テーマ：「補強ブロック造技術の再評価と可能性」－日本での経験を活かしたフィリピンへの改善工法の提案と国内への還元－
- ・日時：令和2年8月20日（金）13:30～16:30
- ・会場：北海道自治労会館 3階中ホール（札幌市北区北6条西7丁目）
- ・参加者；28名（一般17名、関係者11名）

・次第

13:30 開会挨拶・趣旨説明 石山祐二 北海道建築技術協会会長

13:40 講演

- ・補強ブロック造技術の再評価の背景：檜府龍雄（国際協力機構）
- ・北海道の経験からの教訓：吉野利幸（北海道建築技術協会）
- ・組積造の魅力：圓山彬雄（㈱アープ建築研究所）
- ・工期短縮及び施工の合理化を目指した構工法の事例：米澤稔（㈱よねざわ工業）

14:40 休憩（10分）

- ・フィリピンの状況の概要：青野洋之（㈱チヨダマシナリー）
- ・コスト低減、施工性を高めた改善工法の提案概要：石山祐二（北海道大学名誉教授）
- ・フィリピン向け改善工法の設計例：西川忠（北電総合設計㈱）
- ・ブロック造の部材実験結果の概要：植松武是（北海学園大学）
- ・提案工法のコスト分析：前島彩子（明海大学）

16:05 意見交換

16:30 閉会

② 2020HoBEAセミナー&シンポジウム

（公財）建築技術教育普及センターの補助事業を得て実施した「気密化住宅における機械換気システムの良い設計施工に向けた資料作成および講習会の実施」の成果報告としてセミナー&シンポジウムを開催した。

- ・テーマ：「住宅用ダクト式換気システムの設計と施工」
- ・日時：令和2年8月26日（水）13:30～16:40
- ・会場：北海道自治労会館 5F 大ホール（札幌市北区北6条西7丁目5-3）およびオンライン
- ・参加者：一般138名（会場45名、オンライン93名）
：関係者8名

・次第

趣旨説明

B I S-V研究委員会幹事

北海道科学大学 福島 明氏

13:30～15:10

第1部 セミナー：住宅用ダクトシステムの設計と施工

講演1 ダクト換気に必要な住宅設計

山本亜耕設計事務所 山本亜耕氏

講演2 換気ダクトの設計と施工の実際

三浦 眞オフィス 三浦 眞氏

15:20～16:30

第2部 シンポジウム：住宅の機械換気は機能するか

コーディネーター

北海道大学 菊田弘揮氏

パネラー

多田工務店 多田 勉氏

（前掲） 山本亜耕氏

（前掲） 三浦 眞氏

（前掲） 福島 明氏

③ 木造住宅の耐久性に係るセミナー

北海道住宅検査人登録者や住宅のインスペクション業務に係る技術者を対象とした研修会を開催した。

- ・日時：令和3年2月2日（木）13:30～15:45
- ・会場：ホテル札幌ガーデンパレス 2F孔雀（札幌市中央区北1条西6丁目）およびオンライン
- ・参加者：一般参加者12名（会場7名）、オンライン5名）
：関係者5名（会場5名）
- ・次第
 - 13:30～13:35 開会あいさつ
 - 13:35～14:35 第1講
「平成30年北海道胆振東部地震による建築物の被害に関する調査結果」
講師：渡邊和之氏（道総研 建築研究本部 企画調整部長）
 - 14:35～14:45 （休憩）
 - 14:45～15:45 第2講
「サーマルインスペクション」について
講師：東出憲明氏（INDI株式会社）
 - 15:45 閉会

第4 関係機関、団体等との連携・協力に関すること

1 一般社団法人日本建築学会との連携

日本建築学会北海道支部の構造専門委員会、材料施工専門委員会、環境工学専門委員会をはじめ、各種委員会等に当協会々員が委員等として参画した。

2 関係機関等との連携・協力

従来から連携を図り、協力関係にあった住宅金融支援機構、地方独立行政法人北海道立総合研究機構北方建築総合研究所・林産試験場、北海道建築設計会議、一般社団法人全国建築コンクリートブロック工業会等と情報の交換、各種事業への参画を頂いた。全国耐震ネットワーク委員会の全体委員会は中止となった。

北海道建設部建築指導課主催の「全道住宅建築物耐震改修促進会議」、「赤れんが建築賞実行委員会」、「民間住宅施策推進会議」などに委員として参画しているほか、道庁関係部との協力・連携を図った。

（一財）北海道建築指導センター、（一社）北海道ビルダーズ協会をはじめ（一社）北海道建築士事務所協会、（一社）北海道建築士会とは各種講習会・セミナー等の広報、後援などで協力を図った。

第5 その他

1 会員の状況

令和2年度中における入・退会状況は、次のとおりである。

会 員 数 の 推 移 (社・人)

会員区分	令和 2年度 期 首	期 中 移 動					令和 2年度 期 末
		入会	退 会				
			任意 退会	10条1項 適用	10条4項 適用	その他	
法人A会員	61	1	6				56
法人B会員	8						8
個人会員	123	3	4	0	1		121
特別会員	2						2
計	194	4				11	187

2 会議の開催状況

令和2年度における会議の開催状況は、次のとおりである。

【定時総会】

令和2年度の定時総会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から5月開催を7月に延期するとともに、委任状や議決権行使の提出をお願いし、会場出席者を極力少なくして行った。

- ・日時：令和2年7月9日(木) 14時～15時
- ・会場：ホテル札幌ガーデンパレス 2階孔雀（札幌市中央区北1条西6丁目）
- ・出席者：123名（会場9名、委任状・議決権行使114名）

【理事会】

令和2年の理事会は、次のとおり3回開催された。

第1回定例理事会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面会議とした。

日時：令和2年5月6日(火)

(議事内容)

- 議題第1号 令和元年度事業実施報告・収支決算報告および監査報告の件
- 議題第2号 令和元年度公益目的支出計画実施報告および監査報告の件
- 議題第3号 令和2年度通常総会への提出議案の件
- 議題第4号 令和2年度通常総会の開催および付随する行事の件

第2回定例理事会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会場参加とオンライン(Zoom)参加のハイブリッド開催とした。

日時：令和3年2月19日(金)10時30分～12時20分

会場：ホテル札幌ガーデンパレス+個別（オンライン）

(議事内容)

- 議題第1号 新たな規程の制定について（審議議題）
- 議題第2号 補助事業・受託調査研究の採択・委託状況について（報告議題）
- 議題第3号 入・退会について（報告議題）
- 議題第4号 会長並びに専務理事の業務執行状況について（報告議題）

懇談事項 1. 総会のオンライン併用開催について

懇談事項 2. 新ビルへの移転の情報について

第3回定例理事会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンライン（Zoom）開催とした。

日時：令和3年3月25日（火）

会場：個別（Zoom）

（議事内容）

議題第1号 令和3年度事業計画（案）の件（審議議題）

議題第2号 令和3年度収支予算（案）の件（審議議題）

議題第3号 事務所移転の件（審議議題）

議題第4号 定款一部変更の件（審議議題）

議題第5号 BIS登録者更新に係る事務処理変更の件（報告議題）

【常任理事会】

令和2年度の常任理事会は、全てメール会議で次のとおり5回開催された。

第1回常任理事会（メール会議） 令和2年4月7日（月）

（議事内容）

・新規会員の加入承認について

第2回常任理事会（メール会議） 令和2年12月4日（金）

（議事内容）

・新たな業務の受託について

第3回常任理事会（メール会議） 令和3年1月20日（水）

（議事内容）

・新たな業務の受託について

第4回常任理事会（メール会議） 令和3年2月25日（木）

（議事内容）

・推薦依頼について

第5回常任理事会（メール会議） 令和3年3月26日（金）

（議事内容）

・新規会員の加入承認について

・新たな業務の受託について

【部会・研究会連絡会議】

第1回部会・研究会連絡会議 令和2年6月16日（火） 協会事務所＋Zoom

第2回部会・研究会連絡会議 令和2年7月28日（火） 協会事務所＋Zoom

第3回部会・研究会連絡会議 令和2年9月3日（木） 協会事務所＋Zoom

第4回部会・研究会連絡会議 令和2年10月8日（木） 協会事務所＋Zoom

第5回部会・研究会連絡会議 令和2年12月3日（木） 協会事務所＋Zoom

第6回部会・研究会連絡会議 令和3年3月4日（木） 協会事務所＋Zoom

【各研究会運営委員会・部会】

各研究会運営委員会、部会の開催状況の詳細は省略します。

- ・メーソンリー建築研究会
- ・外断熱建築研究会
- ・建築診断研究会
- ・木質構造研究会
- ・設備・環境・エネルギー研究会
- ・住宅リフォーム部会 など

【外部会議】

外部会議の開催状況の詳細は省略します。

- ・北海道建築設計会議
- ・北海道赤レンガ建築賞実行委員会
- ・民間住宅施策推進会議、民間住宅施策推進会議ワーキング など

以 上